

パパ永六輔さんよみがえる素顔

ニッポン 写真遺産

思い出まるごと
スキャン

タレント、放送作家として活躍した永六輔さん。「上を向いて歩こう」など

数々のヒット曲の作詞を手がける一方、家族を大切に
する父親でも知られた。その
家庭人としての素顔を切り
取った写真の展示が2
日、朝日新聞東京本社（中



永麻理さん

次女・麻理さんが本社サービスでデジタル化

中央区築地5丁目）2階コン
コースで始まった。

永さんは2016年7
月、83歳で亡くなった。残
された約50冊のアルバム
を、次女でフリーアナウン
サーの麻理さん（57）が、朝
日新聞社の写真デジタル化
サービス「ニッポン写真遺
産」でデジタル化した。

多くの写真から選んだの
は2点。いずれも子煩悩な
父親の姿が特に表れてお
り、1964年の東京五輪
の開催中、国立競技場前で
撮影された。スタンドを背
に、当時5歳の長女千絵さ
ん、3歳の次女麻理さんを
抱っこしている。妻の昌子
さんが写した。

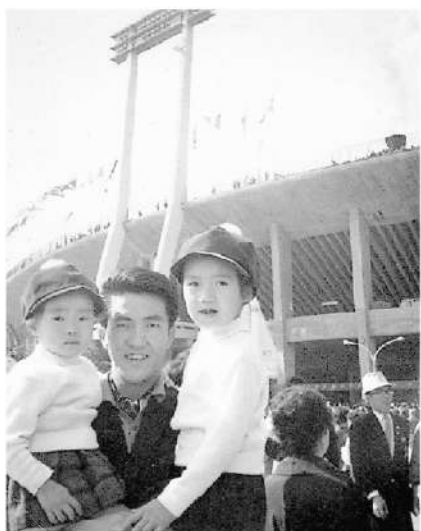
もう1枚は千絵さんが、
両親と麻理さんを撮った写
真。「ちゃんとシャッター

15日まで「みんなのお宝写真展」

し、押せるかな」と、5歳
の娘を心配しつつ、見守る
温かいまなざしが伝わって
くる。麻理さんの記憶で
は、この日は競技の観戦の
ために訪れたわけではなか
ったようだ。麻理さんは
「好奇心旺盛で、『取材が
てら行ってみよう』が口癖
の父でしたから、五輪の雰
囲気だけでも味わいに行っ
たのでしょ」と懐かし
む。

永さんの2点のほか、
「ニッポン写真遺産」に寄
せられた印象深い写真約20
枚を展示する「みんなのお
宝写真展」は15日まで開
催。問い合わせは同サービ
スのコールセンター（03・
6868・8255、平日
午前10時～午後5時）へ。

（樋口慶）



東京五輪が開かれていた
国立競技場前に立つ永六
輔さん。左が次女麻理さ
ん、右が長女千絵さん＝
妻の昌子さん撮影



麻理さんを抱っこする
永さんと、昌子さん
（左）。千絵さんがシャ
ッターを切った＝い
ずれも1964年10月撮影